

# 一般外科・小児外科・肛門外科

## 1. 概要

### (1) 一般外科・小児外科

2016年の手術総数は1,604件でそのうち15歳以下の小児手術は163件。全緊急手術は282件(17.6%)。対象疾患は、虫垂炎やヘルニアといった日常的な疾患から甲状腺・消化器・乳腺の悪性腫瘍まで幅広い。

腹腔鏡下手術は、胃癌切除105件中34件(32.4%)、大腸癌切除200件中68件(34%)、肝部分切除16件中8件(50%)、肝外側区域切除2件中1件(50%)に対し行われた。最近では、虫垂や成人鼠径ヘルニアに対しても積極的に腹腔鏡を導入し、2016年には、虫垂炎手術127件中38件(30%)、鼠径ヘルニア手術211件中17件(8%)に行われた。2014年11月より直腸癌に対するロボット支援下手術を臨床研究として開始し、2016年には18件行った。また、2015年4月からは早期胃癌に対してもロボット支援手術が開始され2016年は5件行った。

乳癌手術は144件で、乳房温存手術は63件、センチネルリンパ節生検陰性は113件であった。乳腺専門医と形成外科医による乳房全摘同時再建手術(Tissue expander 挿入)は4件に行われた。

肝切除30件で、疾患別内訳は、原発性肝癌14、転移性肝癌9、胆道癌5、その他2。

膵頭十二指腸切除は22件で4件が標準的膵頭十二指腸切除で、残り18件は亜全胃温存で行われた。この疾患別内訳は、膵頭部癌10、胆嚢・胆管癌3、乳頭部癌2、乳頭部腺腫2、十二指腸癌2、十二指腸腺腫1、IPMN1、特殊膵炎(IgG4関連疾患)1。

食道癌は5件に根治手術が行われ、3領域郭清が4件、2領域郭清が1件であった。

上部消化管潰瘍穿孔10件のうち非手術的保存療法は6件(60%)だった。

腸閉塞入院は191件のうち45件(23.6%)に手術が施行された。

小児外科手術は名古屋大学小児外科と連携し治療に当たっており、新生児手術は3件であった。

一般外科全体の入院総数は2,171人と昨年の2,203人よりやや減少し、平均入院期間は10.9日とこちらは昨年の11日よりわずかに減少していたがおおむね同様の傾向であった。

(第一部長 平松 和洋)

### (2) 肛門外科

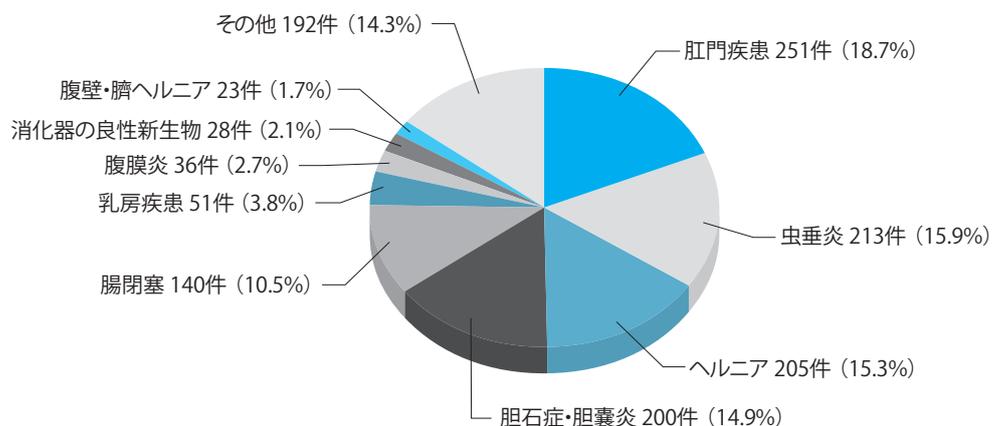
“肛門外科”は当院移転新設に伴い一般外科から離れ、単科(こう門科)と標榜されたが、診療・治療は一般外科と共同で運営している。外科としての外来診療における統計では、悪性疾患治療を除くと痔核を筆頭とした肛門疾患、症状にて受診される患者が多い。肛門というデリケートな部分であることから専門性を必要とした治療においてはやはり専門家での診療・治療を希望される方も多い。肛門外科として標榜している診療日は木曜日のみであるが、常勤で外科診療に携わっている利点から、日々肛門外科として診察や治療に当たっている。外来診察の際は、患者が安心して受診できるような対応・環境整備を心掛け、診察で患者に不自由・不快な思いを持たれないように努力している。良性疾患であり、外来処置や生活指導・薬物療法など保存治療に重きを置き、患者の症状によって手術適応を決めている。一方、“ストーマ外来”を認定看護師とともに行っている。

(部長 柴田 佳久)

## 2. 新規登録疾患

### (1) 悪性新生物以外

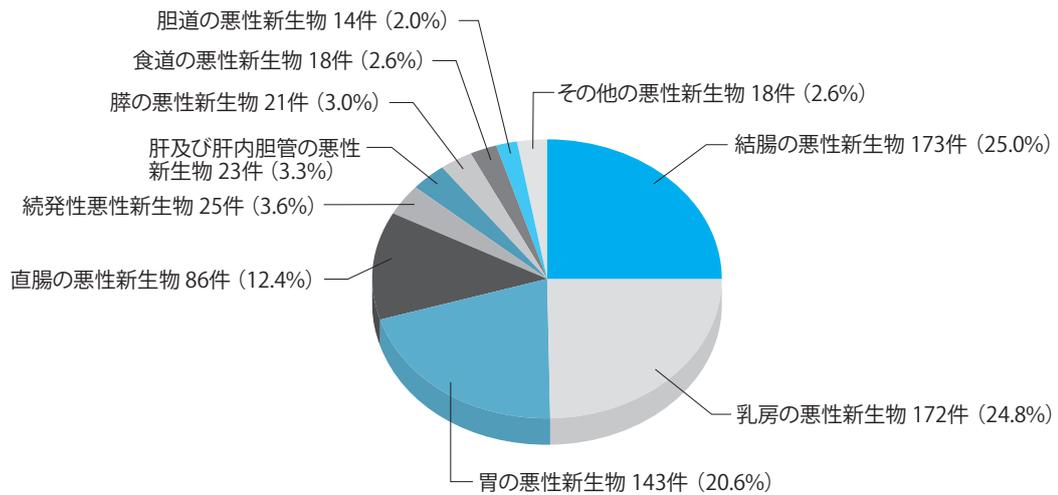
総件数：1,339件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
肛門疾患	合併症を伴わない痔核	91	I842
	合併症を伴わない痔核, 詳細不明	47	I849
虫垂炎	急性虫垂炎, 詳細不明	112	K359
	汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎	11	K350
ヘルニア	一側性又は患側不明のそけいヘルニア, 閉塞又はえ疽を伴わないもの	191	K409
胆石症・胆嚢炎	胆のう炎を伴わない胆のう結石	114	K802
	その他の胆のう炎を伴う胆のう結石	24	K801
腸閉塞	閉塞を伴う腸癒着[索条物]、イレウス, 詳細不明	98	K565, K567
乳房疾患	乳房の良性新生物	51	D24
腹膜炎	急性腹膜炎	33	K650
消化器の良性新生物	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物, その他の消化器	11	D377
腹壁・臍ヘルニア	腹壁ヘルニア, 閉塞又はえ疽を伴わないもの	13	K439

(2) 悪性新生物

総件数：693件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
結腸の悪性新生物	結腸の悪性新生物, S状結腸	69	C187
	結腸の悪性新生物, 上行結腸	42	C182
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房, 部位不明	92	C509
	乳房の悪性新生物, 乳房上外側4分の1	35	C504
胃の悪性新生物	胃の悪性新生物, 胃, 部位不明	111	C169
	胃の悪性新生物, 胃体部	17	C162
直腸の悪性新生物	直腸の悪性新生物	86	C20
続発性悪性新生物	肝の続発性悪性新生物	13	C787
	後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物	11	C786
肝及び肝内胆管の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物, 肝癌	20	C220
膵の悪性新生物	膵の悪性新生物, 膵, 部位不明	10	C259
食道の悪性新生物	食道の悪性新生物, 食道, 部位不明	14	C159
胆道の悪性新生物	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物, 肝外胆管	10	C240

### 3. 活動報告

#### (1) 患者状況

年間外来患者数	34,508人	年間外来新患者数	2,373人
年間入院患者数	23,387人	年間入院新患者数	2,052人

#### (2) 2016年入院概要（全平均入院期間10.9日）

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 期間(日)
イレウス	手術	45	15.2
	保存療法	146	9.5
外傷	手術	11	28.8
	IVR	3	37.7
	保存療法	18	16.7
合併症治療・抗がん剤有害事象	保存療法	95	10.6
その他	手術	22	9.7
	保存療法	46	12.5
その他／悪性	手術	5	9.2
	保存療法	1	8
甲状腺／良性	手術	10	5.5
	保存療法	0	0
甲状腺／悪性	手術	10	5.6
	保存療法	0	0
内分泌	予定手術	0	0
非新生児	手術	143	2.4
	保存療法	12	5.1
腹腔内癌再発	手術	2	5
	保存・緩和療法	6	10.4
腹膜炎	手術	27	26.8
	保存療法	29	10.3
ヘルニア	手術	218	2.9
	保存療法	3	4
痔核・痔瘻	手術	31	5.7
虫垂	手術	136	4.4
	保存療法	31	8
胃十二指腸／良性	手術	4	14.3
	保存療法	6	12.5

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 期間(日)
胃十二指腸／悪性	手術	124	16.9
	化学療法	7	13.4
	放射線療法	2	28.0
	緩和療法	16	18.8
	保存療法	35	10.7
肝胆膵脾	手術	265	11.0
	保存療法	52	13.3
	緩和療法	8	18.1
	化学療法	13	5.5
	放射線療法・IVR	3	22.0
小・大腸／悪性	手術	245	16.8
	保存療法	21	13.4
	緩和療法	23	26.9
	保存療法	52	13.4
小・大腸／良性	手術	22	21.4
	保存療法	7	8.0
食道／悪性	手術	5	19.4
	保存療法	5	9.2
	化学/放治	8	17.6
	緩和療法	1	22.0
食道／良性	保存療法	2	34.5
乳腺／その他	手術	4	6.3
乳腺／悪性	手術	149	6.8
	保存療法	17	15.4
	緩和療法	12	12.9
	化学/放治	13	20

(3) 一般外科・小児外科手術数（2016年）1,604例

①一般外科	1,604	(a)小腸切除	17(1)
全身麻酔	1,208	(b)腸瘻造設	2
脊髄麻酔	114	(c)腸瘻閉鎖	10
局部麻酔	281	(d)腸吻合	1
(ア)甲状腺		(e)結腸直腸切除	10(4)
a 良性疾患		(f)大腸亜全摘	1
(a)部分切除	0	(g)癒着剥離	26(2)
(b)葉切、亜全摘、全摘	10	(h)経肛門／経仙骨	0
b 悪性疾患		(i)単開腹／その他	2
(a)部分切除、亜全摘、他	3	b 悪性疾患	
(b)全摘	10	(a)腸瘻造設	22(1)
(イ)乳 腺		(b)腸吻合	0
a 良性疾患 摘出	7	(c)小腸切除	3(1)
腺管区域切除	1	(d)結腸切除	128(40)
b 悪性疾患	144	(e)直腸切除（高位、低位）	61(24)
(a)定型乳切	0	(f)直腸切断	11(4)
(b)非定型乳切(Bt+Ax)	30	(g)経肛門／仙骨的切除	0
(c)Bt±SLNB	50	(h)骨盤内臓全摘	1
(d)乳房温存手術±SLNB	63	(i)大腸亜全摘	0
(e)Tm他	1	(j)単開腹／その他	0
(ウ)食 道		(カ)虫垂炎（虫垂／回盲部切除）	127(38)
a 良性疾患	0	(キ)肝/胆/膵/脾	
b 悪性疾患		(a)肝部分切除	16(8)
(a)胸部食道切除	6	(b)肝区域／葉切除	12(1)
(b)その他	0	(c)胆嚢床切除	3
(エ)胃・十二指腸		(d)開腹胆嚢摘出術	14
a 良性疾患		(e)腹腔鏡下胆嚢摘出術	175
(a)胃切除、胃全摘	0	(f)開腹胆管切開術	6
(b)体網充填	7	(g)胆管消化管吻合	1
b 悪性疾患		(h)胆管切除	5
(a)幽門側胃切除	72(29)	(i)膵頭十二指腸切除（PD）	3
(b)胃全摘	33(5)	(j)亜全胃温存PD	19
(c)噴門側胃切除	0	(k)膵尾部切除	12
(d)腹腔鏡下胃切除	34	(l)膵全摘	0
(e)胃腸吻合	8	(m)膵部分切除	1
(f)楔状切除／十二指腸切除	6(2)	(n)膵管空腸吻合	0
(g)PD	0	(o)脾摘	0
(h)試験開腹／その他	4	(p)胃腸吻合	0
(オ)小腸・大腸		(q)単開腹／その他	3
a 良性疾患			

(ク)内分泌	
(a)副甲状腺	0
(b)副腎	1
(ケ)ヘルニア	
(a)鼠径大腿	211(17)
(b)腹壁・臍・閉鎖孔など	17(3)
(コ)痔核痔瘻	32
(カ)局麻手術	
(a)摘出、生検	48
(b)その他	82
(シ)外傷／医原性	9
(ス)腹膜炎	26(2)

(セ)腹腔内癌再発	15
(ソ)その他	33
②小児外科(全例全身麻酔)	163
(ア)新生児手術	3
(イ)鼠径ヘルニア	78(73)
(ウ)虫垂切除	31(18)
(エ)精巣固定	13
(オ)臍形成	9
(カ)幽門筋切開	1(1)
(キ)その他	28(3)

( )内はその内の鏡視下手術件数

## 学会発表（医局）

### <肛門外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	ストーマ・オストメイトに関する地域での啓発と医療者教育についてー地域での活動経過と展開ー	筆頭演者	柴田 佳久	第33回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	山梨県	2016/2/20
2	胃癌手術における短期栄養状態変化（インボディーによる体成分分析）と栄養補助食品付加効果の検討	筆頭演者	柴田 佳久	第31回日本静脈経腸栄養学会	福岡市	2016/2/26
3	絞扼性腸閉塞症例における受診から手術処置までの臨床・CT評価の検討	筆頭演者	柴田 佳久	第71回日本消化器外科学会総会	徳島市	2016/7/14
4	豊橋市民病院 肛門外科のクリニカルパス	筆頭演者	柴田 佳久	第57回東海肛門疾患懇談会	名古屋市	2016/7/23
5	先進医療導入（ロボット手術支援システム・「ダビンチ」導入経過と導入後）に対する自院の現状について	筆頭演者	柴田 佳久	第55回全国自治体病院学会	富山市	2016/10/21
6	実臨床にて下痢・腹痛発症で外科的急性腹症と疑診されるカンピロバクター腸炎	筆頭演者	柴田 佳久	第78回日本臨床外科学会総会	東京都	2016/11/24

## 研究会発表（医局）

<肛門外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	WOCNSの活動状況と悩み	筆頭演者	柴田 佳久	第65回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会	静岡市	2016/6/4

## 座長・司会（医局）

### <肛門外科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般演題33 がん3	柴田 佳久	第31回日本静脈経腸栄養学会	福岡市	2016/2/26
2	座長	PS-221ポスターセッション (221)「大腸骨盤外科・その他」	柴田 佳久	第116回日本外科学会定期学術集会	大阪市	2016/4/14
3	座長	退院後支援	柴田 佳久	第65回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会	静岡市	2016/6/4
4	座長	一般演題	柴田 佳久	第17回三河重症疾患研究会	豊橋市	2016/7/2